

# 令和6年度前期学校評価集計結果

4：そう思う、3：ややそう思う、2：あまりそう思わない、1：そう思わない ■ 前年比-3%以上 ■ 前年比+3%以上

No	評価項目	対象	4	3	2	1	肯定	否定	R5後期否	R5後期否	項目考察
1	生徒にとって学校生活は楽しい。	教職員	14%	71%	14%	0%	86%	14%	89%	11%	生徒が「楽しい」と感じる魅力的な学校づくりに取り組んでいきたいと思 います。生徒が主体的に取り組む活動を増やして行きます。
		生徒	48%	42%	9%	1%	90%	10%	91%	9%	
		保護者	32%	42%	18%	7%	74%	26%	80%	20%	
2	学校は、学校教育目標達成のための努力を 行っている。	教職員	43%	50%	7%	0%	93%	7%	100%	0%	学校教育目標達成に向けたキーワードは「自立」と「挑戦」です。生徒が 自分たちの学校は自分たちで創るという意識を高め、前向きに取り組め るよう工夫していきたいと考えます。
		生徒	32%	52%	14%	3%	83%	17%	87%	13%	
		保護者	20%	58%	22%	1%	78%	22%	86%	14%	
3	自分の学校に自慢できるものがある。	教職員									生徒が自分の学校に誇りをもち、学校生活を送れるよう学校生活の充 実に努めています。
		生徒	31%	47%	18%	5%	78%	22%	85%	15%	
		保護者									
4	学校は学校教育目標（挨拶・時間・清掃・ 歌声）を意識した教育活動が行われている	教職員	14%	71%	14%	0%	86%	14%	100%	0%	具体的な活動を意識し、今後も丁寧に指導していきます。
		生徒									
		保護者	23%	61%	16%	0%	84%	16%	82%	18%	
5	学校は、生徒や学校の様子を学年・学校だ より等でよく知らせている。	教職員	71%	29%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	各種たよりや諸連絡をスクリーンで配信しているが、生徒の活動の様子や 学校生活等について、今以上に積極的に情報を発信するとともに、内容 の充実を図っていきます。
		生徒	42%	49%	7%	1%	92%	8%	93%	7%	
		保護者	32%	51%	15%	2%	83%	17%	99%	1%	
6	学校は、あいさつをきちんとするよう指導 している。	教職員	50%	43%	7%	0%	93%	7%	100%	0%	コミュニケーション能力の基本であるあいさつは人間関係づくりの土台 となります。今後も、学校全体の意識を高め、積極的にあいさつができる よう指導していきます。
		生徒	62%	34%	4%	1%	95%	5%	97%	3%	
		保護者	31%	54%	15%	1%	84%	16%	86%	14%	
7	先生は、生徒のことをよく理解しようと努 力している。	教職員	57%	43%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	今後も生徒理解に努め、生徒に寄り添った指導を心がけて全職員で取り 組んでいきたい。
		生徒	40%	47%	11%	1%	88%	12%	93%	7%	
		保護者	27%	45%	26%	2%	72%	28%	86%	14%	
8	先生は、子どもの特性に合わせ個に応じた きめ細やかな支援を行っている。	教職員	43%	57%	0%	0%	100%	0%	89%	11%	生徒理解に努め、生徒、保護者と相談しながら、生徒の特性にあった支 援を行っています。
		生徒	28%	50%	19%	3%	78%	22%	83%	17%	
		保護者	21%	40%	35%	5%	61%	39%	76%	24%	
9	学校は、いじめを許さない雰囲気がある。	教職員	86%	14%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめは絶対に許さないという 意識のもと、全職員で指導にあたっていきます。
		生徒	36%	43%	17%	4%	79%	21%	82%	18%	
		保護者	10%	56%	24%	10%	66%	34%	78%	22%	
10	先生は、困っている時に相談に乗ってく れる。	教職員	64%	29%	7%	0%	93%	7%	100%	0%	生徒自身が一人で抱え込まず、学校がSOSが出せる場所であるよう、 相談体制の充実をはかっています。また、保護者の皆様も遠慮なく相談 してください。
		生徒	49%	41%	9%	1%	90%	10%	94%	6%	
		保護者	22%	45%	26%	7%	67%	33%	83%	17%	
11	学校は、命を大切にす心や社会のルール を守る態度を育てている。	教職員	50%	50%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	「学校のルール=社会のルールやマナー」となるよう、生徒自身が「主 体的」に行動できるように、今まで以上にルール、マナー、モラル等様々な角 度から生徒の心を醸成していきたいと考えます。
		生徒	60%	37%	3%	0%	97%	3%	98%	2%	
		保護者	22%	57%	19%	2%	78%	22%	89%	11%	
12	学校は、生徒に基本的な生活習慣を身に つけさせようと努めている。	教職員	14%	71%	14%	0%	86%	14%	100%	0%	学校での諸活動の充実、基本的な生活習慣が土台となっています。 引き続き、学校教育の充実を図るとともに、地域と連携しながら、継続 的な指導を進めていきたいと思ひます。
		生徒	40%	50%	9%	1%	90%	10%	95%	5%	
		保護者	27%	60%	11%	2%	87%	13%	93%	7%	
13	学校は、環境美化活動やパトロール等、保 護者と連携した活動に取り組んでいる。	教職員	0%	57%	43%	0%	57%	43%	89%	11%	保護者全員が、交通安全指導に関わっていただける中学校はほとんど ありません。今年度から、資源回収もなくなりPTA活動についても見直し が必要と考えます。現在、総務で話し合いを行い、生徒に必要な活動を保 護者と連携して行っていく方向で検討しています。
		生徒	24%	45%	24%	6%	70%	30%	87%	13%	
		保護者	26%	54%	20%	1%	80%	20%	97%	3%	
14	学校行事は、楽しく充実している。	教職員	43%	57%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	学校行事は、生徒が成長したり、教室では見れない互いの良さを見るこ とができたりする大切な教育活動であると考えます。「『全員が』楽しく」 積極的に取り組めるよう、よりよい行事にしていきたいと思ひます。
		生徒	55%	36%	7%	2%	91%	9%	92%	8%	
		保護者	31%	54%	11%	3%	86%	14%	92%	8%	
15	部活動は、生徒にとって充実している。	教職員	7%	64%	21%	7%	71%	29%	83%	17%	令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等 に関する総合的なガイドライン」が示され、地域移行の推進により、限られ た時間の中で活動となっていますが、その中で充実した活動になるよう 考えて取り組むよう指導していきます。
		生徒	59%	27%	5%	9%	86%	14%	85%	15%	
		保護者	52%	27%	11%	11%	78%	22%	82%	18%	
16	学校は、生徒に豊かな心を育もうと努力し ている。	教職員	29%	71%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動 する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観など、引き続き教 育活動全体を通して育成していきます。
		生徒	52%	45%	4%	0%	96%	4%	96%	4%	
		保護者	32%	55%	13%	1%	87%	13%	84%	16%	
17	学校は、自らの生き方や進路について真剣 に考える生徒を育もうとしている。	教職員	29%	57%	14%	0%	86%	14%	100%	0%	キャリア教育は進学指導だけではなく、社会的・職業的自立に向け、必 要な基盤となる能力や態度を育てることです。全教育活動の中で、今後 の生き方について考える機会を増やしていきます。
		生徒	50%	42%	6%	2%	92%	8%	86%	14%	
		保護者	19%	51%	28%	2%	71%	29%	81%	19%	
18	先生は、授業に集中させる工夫や指導をし ている。	教職員	23%	69%	0%	8%	92%	8%	100%	0%	ICTの活用をはじめ、生徒が主体的に学ぶ授業を実施するため、授業 改善に努めています。今後も研修を重ね、より質の高い授業を目指しま す。
		生徒	37%	53%	9%	2%	90%	10%	91%	9%	
		保護者	19%	45%	29%	7%	64%	36%	74%	26%	
19	授業がわかりやすい。	教職員	8%	85%	8%	0%	92%	8%	100%	0%	授業がわかることが第1歩です。インプットしたことをアウトプットするこ とにより深い学びにつなげていけるよう工夫していきたいと考えます。
		生徒	34%	59%	5%	3%	93%	7%	94%	6%	
		保護者	6%	42%	40%	13%	48%	52%	70%	30%	
20	先生は、家庭学習を計画的にできるよう指 導している。	教職員	8%	62%	31%	0%	69%	31%	100%	0%	学習習慣の確立や適切な学習課題など、個に応じた指導を充実させる とともに、主体的に学習に取り組む意識の向上を図っていきます。また、家 庭内での支援も欠かせないことから、より一層保護者との連携を深めて いきたいと考えます。
		生徒	25%	41%	26%	7%	66%	34%	78%	22%	
		保護者	14%	27%	35%	25%	40%	60%	73%	27%	
21	学校は、学力向上に向けて取り組んでい る。	教職員	38%	62%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	生徒の学力向上に向け、授業改善に取り組んでいます。「何を学ぶかでは なく、どう学ぶか」を重視し、更に研修を積んでいます。
		生徒	41%	52%	5%	3%	94%	7%	95%	5%	
		保護者	11%	45%	36%	8%	55%	45%	79%	21%	
22	学校は、生徒会活動を通して、生徒に自立 や自治の力を育もうとしている。	教職員	29%	43%	21%	7%	71%	29%	83%	17%	生徒会活動は自治的活動を行う中で、社会性を身につける貴重な場 です。生徒が考え成長できるよう指導していきます。
		生徒	28%	61%	9%	2%	89%	11%	90%	10%	
		保護者	13%	61%	25%	2%	74%	26%	83%	17%	
23	学校は、読書活動の推進に向けて取り組 んでいる。	教職員	14%	36%	36%	14%	50%	50%	22%	78%	読書指導員と連携し、図書室のさらなる利用促進について検討するな ど、読書活動の充実を図っていきます。ご家庭でも、お子様と本の紹介な どおこなってみてください。
		生徒	21%	35%	27%	18%	52%	44%	40%	60%	
		保護者	10%	45%	40%	6%	54%	46%	71%	29%	